



■基礎データ

タイトル	竜巻から自分の身を守る方法を考えよう	
ねらい (学習目標)	1. それぞれの場所での、竜巻からの適切な身の守り方を考える 2. 竜巻の接近に応じた、適切な対応・避難行動を理解する 3. 竜巻に気付いた時に、してはいけないことを学ぶ	
対象学年	小学校高学年（「指導上の留意点」の表現を変更することで低中学年や中学生にも応用可）	
教科・イベント等	事前学習2（総合的な学習・特別活動）	
学習形態	全員（授業）・グループ	計45分
準備	ワークシート（「竜巻から自分の身を守ろう！」）、授業補助資料1・2、学校における防災関係指導資料（栃木県教育委員会）、気象庁リーフレット（「竜巻から身を守ろう！～自ら身を守るために～」）、ホワイトボード・ペンなど ※資料は気象台ホームページに掲載	

■学習の流れ

構成・学習活動の内容	指導上の留意点（主な発問と子どもへの援助）
導入（2分）	
1. 前回授業の復習（2分） 学習のポイント1「ステップ1の学習を振り返る。」	「前回の授業では、竜巻は積乱雲（黒い雲）の下で発生し、竜巻によって大きな被害が起こることを知りました。毎朝天気予報を見て、竜巻が発生しやすい天気なのか確認したり、普段の生活では、空の様子に注意しながら行動することで、竜巻の発生に早く気付くことも学びました。」 ■授業補助資料1の写真2-1～2-16を掲示（選択して掲示でもよい） ※何人かに発表させてもよい（振り返り）。
展開1（32分）	
2. それぞれの場所での、竜巻からの適切な身の守り方を考える 2-1. ワークシート1番（5分） 学習のポイント1「事前学習で得た知識から、竜巻から身を守る方法を考える。」	「今日はワークシート（竜巻から自分の身を守ろう！）を使って、竜巻によって起こる被害から、自分の身を守るためにはどうすればよいのか考えてみましょう。」 「ワークシートの1番を見て下さい。皆さんが学校にいる時に竜巻が襲ってきたことを想像して下さい。教室の他、それぞれの場所にいた時、どのように自分の身を守ればよいのか、まず自分の意見を書いて下さい。」 ※個人の意見を書かせる。
2-2. グループに分かれて話し合う（15分） 学習のポイント2「グループ学習によって他者の考え方を知り、理解を深める。」	「これから、グループに分かれて皆さんの考えた意見を話し合います。各グループに考えてもらう場所を伝えますので、まずグループの中で自分の意見を発表しあって、班長さんはグループの意見をホワイトボードに書いてまとめて下さい。話し合いの後にそれぞれのグループとしての意見を発表してもらいます。グループになりましょう。」 ■ホワイトボード、ペンを各グループに配布する ※「〇〇くん・〇〇ちゃんと同じです。」と言うのではなく、自分の意見を発表させるように進めさせる。 ※グループ分けしない場合には、1つずつ発表させ、発表した意見を黒板に整理しながら話しあって確認してもよい。
2-3. グループごとに発表する（9分）	「では、〇グループから発表してもらいましょう。」 ■写真1-1～1-6を掲示 ※ホワイトボードの回答を整理する。黒板にまとめてもよい。 ※他人の意見は、赤や青鉛筆でワークシートに記入させる。



<p>2-4. 「安全行動」(だんごむし)の大切さを理解する(3分)</p> <p>学習のポイント1「安全行動の違いを理解して、竜巻から身を守る方法の理解を深める。」</p> <p>学習のポイント2「短い時間で自分の身を守る行動「だんごむし」の必要性を理解する。」</p> <p>学習のポイント3「地震発生時の身の守り方との類似点をイメージする」</p>	<p>「グループ発表では、学校内のそれぞれの場所で、竜巻からどのように身を守るのか、いろいろな意見がありました。皆さん一人ひとりで考えた身の守り方と同じでしたか。竜巻から身を守るためには、どの場所でも共通している身の守り方がありました。」</p> <p>※何人かに発表させてもよい。</p> <p>「竜巻によって飛ばされた物やガラスの破片から『頭や体(首)を守る』ことが大切です。教室にいる場合には、机などで身を守ることができます。『シェイクアウト』で行う行動(安全行動1-2-3)が大切です。この図のように『まず姿勢を低く(Drop)、頭を守り(Cover)、動かない(Holdon)』の3つの行動で自分の身(命)を守ります。」</p> <p>「まわりに身を守る物や場所がない時はどうでしょう。同じように『姿勢を低く・頭を守り・じっとする』の姿勢をとります。『だんごむし』のポーズで身を守って下さい。この姿勢は、地震から身を守る方法と同じです。」</p> <p>■図1-1~1-3を掲示 ※安全行動をその場で実践してもよい。 ※低学年には「だんごむしのポーズ」で指導する</p>
<p>展開2(6分)</p>	
<p>3. 竜巻の接近に応じた、適切な対応・避難行動を理解する</p> <p>3-1. 竜巻に気付いた時の対応行動の違いを考える(5分)</p> <p>学習のポイント1「竜巻を認知したときの状況によって、対応行動が異なることを理解する。」</p> <p>学習のポイント2「竜巻接近までに猶予時間がある場合と無い場合の対応行動を理解・イメージする。」</p>	<p>「竜巻が襲ってきた時、学校内のそれぞれの場所での身の守り方を学習しました。地震と違って、竜巻は近付いてくることがわかる場合と、気付かずに突然巻き込まれてしまう場合があります。どちらの場合も、自分の身を守る行動は同じでしょうか。考えてみましょう。」</p> <p>※何人かに発表させてもよい。</p> <p>「共通した身の守り方は『頭や体を守る』です。竜巻の存在に気付いた時(遠くに見えている)には、今いる場所から違う場所へ避難(移動)できる時間(猶予時間)があります。初めに考えた場所よりもっと安全な場所を探し、慌てずに移動して身を守って下さい。」</p> <p>※外にいたら頑丈な建物の中。窓のない(少ない)場所へ移動する。</p> <p>「逆に、直ぐ近くまで竜巻が来てしまった時や、気付かずに突然巻き込まれた時には、その場に応じた身を守る行動をとりましょう。」</p> <p>※ワークシートで学習した対応行動又は「だんごむし」。</p>
<p>3-2. 「お・か・し・も・ち」のルールを確認する(1分)</p> <p>学習のポイント1「避難する時のルールを復習する。」</p>	<p>「竜巻が通過したら、安全な場所へ移動(集合)します。その時の合言葉を覚えていますか。」</p> <p>「『お・か・し・も・ち』です。どこへ避難すればよいのか、どこが竜巻によって被害を受けて危険な場所になっているのか、お喋りをしていると大事な放送(指示)を聞き逃してしまいます。慌てずに、ルールをしっかり守り行動できるようにしましょう。」</p> <p>■図1-4を掲示 ※それぞれの避難行動を1つずつ確認する。 ※おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない。</p>
<p>展開3(2分)</p>	
<p>4. 竜巻に気付いた時に、してはいけないことを学ぶ</p> <p>4-1. ワークシート2番(2分)</p>	<p>「竜巻の存在に気付いた時、してはいけない危険な行動があります。ワークシートの2番に自分の意見を書いて下さい。」</p> <p>「それでは発表してもらいましょう。」</p> <p>※何人かに発表させる。</p>



<p>学習のポイント1「竜巻に気付いた時に、してはいけない行動を理解・イメージする。」</p>	<p>「一番危険な行動は竜巻に近付くことです。屋外にいた時には、何もしないで竜巻をずっと見ている（観察する）ことも、とても危険です。竜巻はとても速いスピードで移動しますので、興味があっても、写真や動画を撮ったりせず、ただちに身を守る行動をとりましょう。」</p> <p>■図 1-5 を掲示</p>
<p>学習のポイント2「屋内へ避難したあとの行動を理解する。」</p>	<p>「建物内に避難していたら（避難したら）、何もしなくても安全でしょうか。物が飛んできてガラスが割れたりする被害が起こるかもしれないので、窓から竜巻を見続ける行動は危険です。室内にいても、竜巻が近づいている時には、身を守る行動をとりましょう。」</p> <p>※竜巻映像ビデオを見せると、より理解が深まる。</p>
<p>まとめ（3分）</p>	
<p>5-1. ワークシート3番（3分）</p> <p>学習のポイント1「『学習目標のまとめ』竜巻から身を守る方法をまとめる。」</p>	<p>「今日は、竜巻から自分の身を守るための対応行動の仕方や、竜巻に気付いた時、気付かなかった時の対応行動の違いについても学習しました。また、竜巻に気付いた時にしてはいけないこともありました。竜巻に気付いた時、周りに誰もいなくて、一人でいた時にはどうすればよいのでしょうか。今日学習したことから、自分の身を守るための大切な心構え（ポイント）を、ワークシートの3番に書いて下さい。」</p>
<p>学習のポイント2「自分で考えて行動できる心構えを身に付ける。」</p>	<p>「それでは発表してもらいましょう。」</p> <p>※何人かに発表させる。</p> <p>「竜巻の危険が身近に迫った時、その場所で自分の身を守るためには、『竜巻によってどのような被害が発生するかをイメージして、身を守るための行動は何が必要かを考え、慌てずに行動する』ことが大切です。いつ、どこにいても、一人でいた時も行動は同じです。竜巻から自分の身を守れるようにして下さい。」</p> <p>「今日の学習は大人にも大切なことです。家で家族の人にも話して下さい。」</p>

■評価ポイント

- 1 それぞれの場所での、竜巻からの適切な身の守り方、してはいけないことを学べたか
- 2 地震発生時の守り方の類似点に気づけた

■特記事項

- ・本指導案は、学習指導要領に沿った内容ではなく、竜巻による被害から身を守る対応行動の仕方を現している
- ・展開 1 における学習のポイントは、ワークシート（教職員用）を参照